AI ポリシー

碧海信用金庫（以下「当金庫」といいます。）は、「地域社会の発展に貢献する」という使命のもと、お客様一人ひとりに寄り添った金融サービスの提供に努めています。

人工知能（AI）は、業務の効率化や高度化、新たなサービスの創出など、様々な可能性を有する技術です。当金庫は、AI を適切に活用し、お客様へのサービス向上や職員の生産性向上、地域課題の解決につなげていきます。

一方で、AI には、誤情報の生成、情報漏えい、バイアス、知的財産権やプライバシーに関する問題などのリスクも存在します。

当金庫は、AI を「人の判断を支援する技術」と位置付け、人間中心の考え方のもと、安全かつ責任ある AI 活用を推進してまいります。

１．人間中心・お客様本位の AI 活用

当金庫は、人権及び個人の尊厳を尊重し、AI をお客様へのサービス向上や職員の業務を支援するために活用します。

AI を効率化のためだけではなく、お客様との対話や提案の質の向上、地域企業への支援や地域課題の解決など、新たな価値の提供につなげていきます。また、重要な判断については、人が確認・判断します。

２．公平性・透明性の確保

当金庫は、AI の特性や限界を理解し、その利用によって不当な差別や偏見が生じないよう公平性の確保に努めます。

また、AI を活用したサービスについて、お客様に分かりやすい説明を行うなど、透明性及び説明責任の確保に努めます。

３．プライバシー・情報等の適切な管理

当金庫は、AI の利用にあたり、個人情報保護法をはじめとする関係法令等を遵守し、お客様情報や機密情報を適切に管理します。

また、情報漏えい、サイバー攻撃、不正利用等のリスクに配慮し、適切な情報セキュリティ対策を講じるとともに、著作権その他の知的財産権及び公正な競争環境を尊重します。

４．信頼性・安全性の確保

当金庫は、AI が誤った情報や不適切な結果を生成する可能性があることを認識し、利用目的やリスクに応じて適切な確認・検証を行います。

特に、お客様への提案その他重要な業務に AI を利用する場合には、その出力を過度に信頼することなく、安全かつ適切な利用に努めます。

５．人材育成と AI ガバナンス

当金庫は、役職員に対する AI リテラシー、倫理、情報セキュリティ、個人情報保護等に関する教育を継続的に実施し、安全かつ責任ある AI 活用を推進します。

また、経営層の関与のもと、AI の利用状況やリスクに応じた適切な管理態勢を整備するとともに、技術、法令、社会情勢等の変化を踏まえ、本ポリシー及び AI ガバナンス体制を継続的に見直し、改善してまいります。